

【国文学研究資料館編 古典講演シリーズ】

国文学研究資料館編

すぎ うら ばい たん
詩人杉浦梅潭とその時代
〔古典講演シリーズ 2〕

■ B6判・並製・280頁

本体2,800円＋税

漢詩人であり、最後の箱館奉行としても有名な杉浦梅潭。平成6年から7年にかけて国文学研究資料館で行われた講演のうち、幕末・明治の動乱を生きた彼の生涯についての3編を前半に、流行語、政治小説、綿絵新聞、庶民の識字力などさまざまなテーマから同時代の人々の心を探る4編を後半に収録する。

ISBN978-4-653-03485-8 [98/2]

国文学研究資料館編

歌 謡
—文学との交響—
〔古典講演シリーズ 4〕

■ B6判・並製・236頁

本体2,400円＋税

日本文学の原点でもあり、古来人びともっとも親しみをもたれてきた「歌謡」。鎌倉時代の「早歌」と道行の関係、幻の歌謡集『宗安小歌集』の謎、中世の田植歌、沖縄の琉歌、近世沖縄宮廷における和歌の享受、面賛等絵画に書き加えられた近世歌謡など、さまざまな時代、さまざまな土地の歌謡を国文学の視点から解説。

ISBN978-4-653-03549-7 [00/1]

国文学研究資料館編

ジェンダーの生成
—古今集から鏡花まで—
〔古典講演シリーズ 8〕

■ B6判・並製・244頁

本体2,400円＋税

情報処理技術により見えてくる古今集のジェンダー規範、ジェンダーの視点から読む源氏物語、女性和歌懐紙作法の変遷、政治小説に見る明治の女性活動家、新聞連載から紅葉・鏡花に至る「女」の物語——平安朝から明治期までの作品を、第一線で活躍中の研究者が「ジェンダー」「女性」という視点から捉えなおす5編を収録。

ISBN978-4-653-03909-9 [02/3]

国文学研究資料館編

田安德川家蔵書と高乗勲文庫
—二つの典籍コレクション—
〔古典講演シリーズ 9〕

■ B6判・並製・240頁

本体2,300円＋税

国文学研究資料館に寄託・寄贈された、二つの典籍コレクション。有職故実・音楽・服飾・文学関係の貴重資料を持つ「田安德川家蔵書」、『徒然草』関連資料の宝庫「高乗勲文庫」。コレクションの成立、コレクション中の注目資料についての論考など6編を収録。附録として、館内で展示された各コレクションの重要書目一覧を付す。

ISBN978-4-653-03913-6 [03/3]